



岩手県土木施工管理技士会

■日本の世界遺産

岩手県には二つの世界文化遺産があります。

①【平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—】

12世紀に奥州藤原氏が平和の祈りを込めて築いた平泉は、平成23年6月世界遺産に登録。平安時代の戦乱の犠牲者たちが、敵味方の区別なく成仏できるようにと仏教の教えに基づいた理想社会をめざし建立された「中尊寺」。その金色堂（内陣—国宝第一号指定）のまばゆきは、平和への切なる願いと藤原氏の栄華を物語っています。

そのほか敷地内に浄土を表現した拡大な庭園を持つ「毛越寺」などがあります。

②【明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業】の構成資産である【橋野鉄鉱山・高炉跡】（釜石市）

幕末から明治期の「製鉄・製鋼」、「造船」「石炭産業」など重工業分野の遺産群が、平成27年7月に世界遺産に登録。安政4年（1857）12月に盛岡藩生まれの“近代製鉄の父”大島高任により、日本で初めて磁鉄鉱の精錬による本格的な連続出鉄に成功、「製鉄・成鋼」分野の基礎となっています。

■奇跡の一本松

陸前高田市の高田松原にあった約7万本



の松林のうち、東日本大震災津波で一本だけ生き残った松が「奇跡の一本松」として復興のシンボルとなっています。

現在、樹上に残った種から苗を育てる取組が進んでいます。

■盛岡三大麺

「盛岡三大麺」とは、わんこそば、盛岡冷麺、盛岡じゃじゃ麺のことです。味わいも食べ方も他にはない独特のスタイルがあり。いずれも盛岡人がこよなく愛するソウルフードです。一度食べたらやみつきになります。



わんこそば

盛岡じゃじゃ麺



盛岡冷麺



■岩手県技士会紹介

岩手県技士会では、土木施工管理技士資格取得のための講習会、監理技術者講習・土木技術講習会等の開催、土木工事技術発表会、生コン、コンクリート製品工場への品質管理監査の立会を行い、技術力の向上及び社会的地位の向上のために活動しております。